

事務事業名		公衆トイレ維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な生活環境の創造		事業期間	
	施策名	16 交通・港湾物流ネットワークの充実		区分	
	基本事業名	04 公共交通網の整備・充実		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	商工港湾部企業立地港湾課		【開始年度】	
	課長名	富澤 武弥		-	
	係名	交通通信係	電話	0192-27-3111	
	担当者	平田 将大	内線	120	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
市内公共交通機関各駅に公共トイレを設置し、維持管理を行う。 〔公共トイレ設置場所:5か所〕 ・JR大船渡線、三陸鉄道リアス線:盛駅前 ・三陸鉄道リアス線:綾里駅、恋し浜駅、甫嶺駅、三陸駅 業務内容 ①維持管理業務の委託契約事務 ②清掃報告書の受理、内容確認 ③委託料の支払い ④物品の補充、破損箇所の修理 事業費は管理委託料、水道電気料、建物保険料、汲取り料、消耗品費、修繕費として支出している。				C 施設管理	
				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金			
		都道府県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
人件費	事業費計(A)		0		
	正規職員従事人数				
	延べ業務時間				
	人件費計(B)		0		
トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・維持管理の委託契約事務 ・清掃報告書の受理、内容確認 ・委託料の支払い ・破損箇所の修理対応 (盛駅前トイレ:便座、手洗い、ドア、目皿。甫嶺駅前トイレ:便器下部の漏水)	名称 ア トイレ設置数 イ ウ
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	単位 か所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・市民 ・交通機関利用者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
名称 カ 大船渡市人口 キ 三陸鉄道南リアス線利用者数	単位 人 千人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・トイレを快適に利用できる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
名称 サ 不具合件数 シ 苦情・不具合対応率	単位 件 %
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 交通機関利用者等の利便性と満足度が向上する。	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費 財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	千円		0	0	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円		2,413	2,398	2,509	2,514	2,514	2,514
事業費計(A)		千円		2,413	2,398	2,509	2,514	2,514	2,514
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		160	160	160	160	160	160
	人件費計(B)	千円		640	640	640	640	640	640
	トータルコスト(A)+(B)	千円		3,053	3,038	3,149	3,154	3,154	3,154
⑤活動指標	ア	か所		5	5	5	5	5	5
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		34,796	33,948	33,540	33,534	33,529	33,527
	キ	千人		112	115	122	130	130	130
	ク								
⑦成果指標	サ	件		2	2	5	2	2	2
	シ	%		100	100	100	100	100	100
	ス								

事務事業ID	0409	事務事業名	公衆トイレ維持管理事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	事業開始年度は不明だが、市内公共交通機関利用者が快適に利用できるようにするためには、トイレの設置も欠かせないものであるため設置した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	人口減少・高齢化が進み、地域自治組織や周辺住民による維持管理が難しくなっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	管理者から、地域住民の重要な足となっている駅トイレなので、できるだけ維持管理していきたいとの意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ トイレ設置と適切な維持管理により、公共交通機関利用者等の利便性と満足度の向上に資する事業であることから、快適な都市環境の創造に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共交通基盤の整備・維持に資する事業であることから、当市の役割として妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 駅トイレ利用者のほとんどは、市民及び交通機関利用者であることから、対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 成果指標「苦情・不具合対応率」は100%であり、これ以上の成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 駅トイレを廃止すると、利用者の利便性と満足度が低下するとともに、利用者数の減少に繋がる恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 地域自治組織や周辺住民に委託するなど、人件費や消耗品等を含めて最低限のコストで維持管理しており、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の人員で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者は市民や公共交通機関利用者であり、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	快適な駅トイレとして適切に維持管理していく。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	三陸鉄道やJR大船渡線BRTの利用者の利便性と満足度の向上を図ることは、これら公共交通機関の利用者数の増加にもつながることから、快適な駅トイレとして適切に維持管理していく必要がある。